

国指定史跡
よなごじょうあと
米子城跡

Information

○天守台までの所用時間
登り口から天守台(山頂)までは
徒歩20分程度です。

○お手洗いについて
天守台にはお手洗いはありません。
テニスコート横のお手洗いを
ご利用ください。

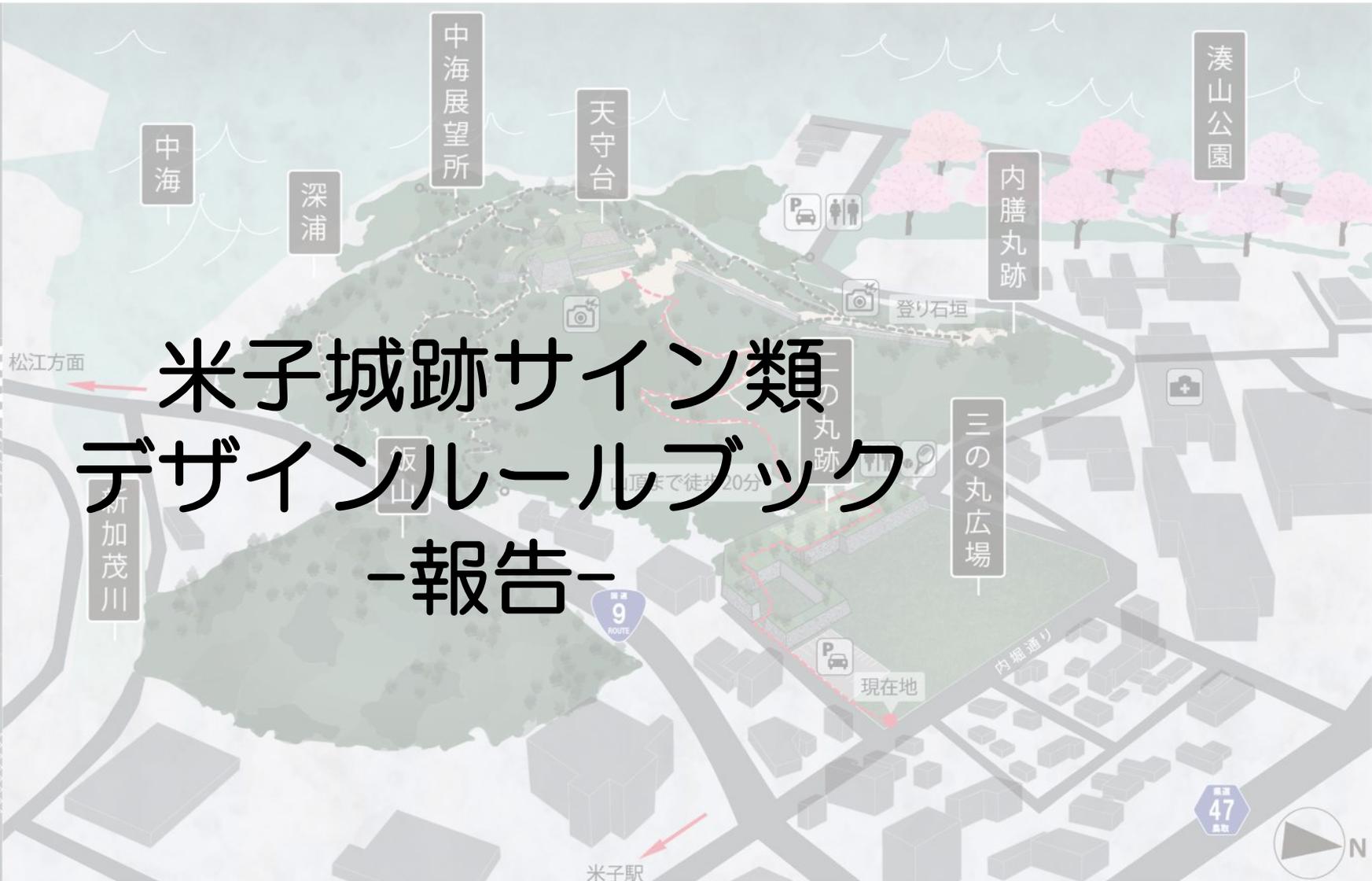
制限行為

米子城跡は国指定史跡
で国民の財産です。
石垣に登るなどの行為
や史跡保存に影響を及
ぼす行為は禁止されて
います。

石垣に登らないで
草刈り禁止
ゴミを捨てないで

米子城に関する
詳しい情報はこちら→
米子市・米子教育委員会

designed
by
米子高専
専攻科
建築学専攻



米子城跡サイン類 デザインルールブック -報告-

ルールブック目次

1章 はじめに

1-1 基本理念

—ユニバーサルデザインを基本としたサイン計画—

①わかりやすい・・・2章・3章

②つくりやすい・・・3章

③まもりやすい・・・4章

1-2 デザインコンセプト

1-3 これまでの経緯と現状の課題

2章 全体計画

2-1 サイン機能配置（概念図）

2-2 サインの種類

①案内・誘導：○

②禁止：△

③解説：□

2-3 配置計画（利用者動線との関係性）

3章 詳細ルール

3-1 種類

3-2 サイズ（高さ・幅・形状などの寸法）

3-3 カラー

3-4 フォント・文字サイズ（その他文字に関するルール）

3-5 材質（その他手法に関するルール）

4章 運用ルール

4-1 各団体との連携の仕組みフロー

4-2 サインフォーマットのフリーダウンロード

4-3 メンテナンスルール（チェックフロー）

4-4 サイン以外の媒体との連携（応用）

現時点では

1章および3章についてまとめる

第1章 はじめに

1-1 基本理念

An aerial photograph of Yonago Castle, a large stone fortification on a hillside. The castle is surrounded by lush green trees and numerous cherry blossom trees in full bloom, their white and pink blossoms contrasting with the greenery. The castle's stone walls and central structures are clearly visible. In the background, a blue body of water is visible, and a small town or village can be seen on the left side of the image.

シンプルで分かりやすく
米子城に相應しいデザインで

引用：米子市観光協会HP <http://www.yonago-navi.jp/yonago/shitamachi/sightseeing/yonago-castle-trace/>

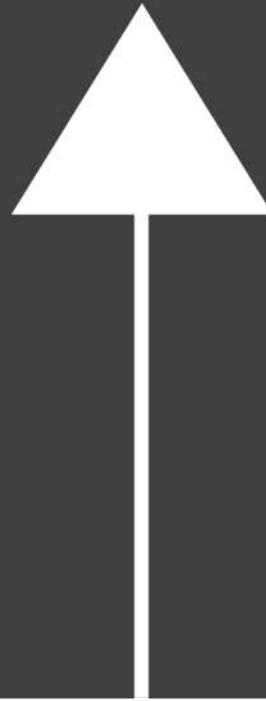
年齢、性別やハンディキャップに関係なく**全ての利用者に
伝わるデザイン**でなければならない

したがって私たちが提案するのは
ユニバーサルデザインを基本としたサイン計画である

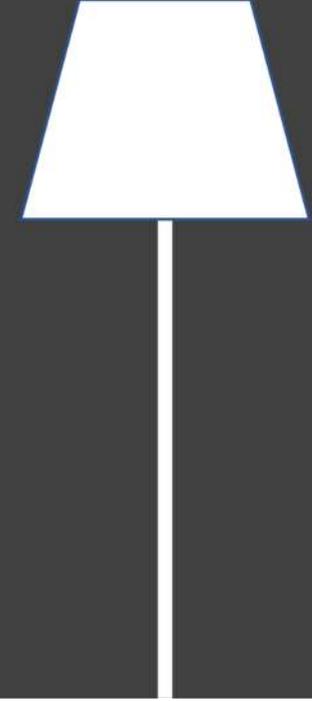
三種のかたち



丸



三角

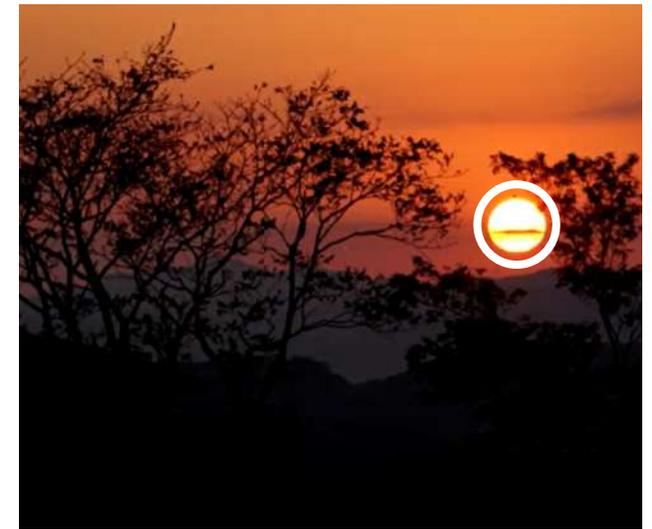


四角(台形)

誰にでもわかりやすい丸・三角・四角(台形)を基本のかたちとしてデザインする

第1章 はじめに
1-2 デザインコンセプト

米子城を中心とする街の景色



引用：空から見る米子城YouTube

丸・三角・四角(台形)のような幾何学なかたちは米子の景色に溶け込んでいる

第1章 はじめに

1-2 デザインコンセプト

古くから愛された伝統や歴史



和柄模様

※1



家紋

※2



狭間

※3

古くから伝わるデザインにも丸・三角・四角(台形)が多用されている

引用サイト(12月17日時点)

※1 OMOTEWASHI JAPAN HP: <https://omotewashi.jp/japanese-traditional-pattern/>

※2 攻城団全国御城印コレクション :<https://collection.kojodan.jp/gojyojin/item/1042/>

※3 お城を知って巡って、つながるサイト:<https://shirobito.jp/article/367>

かたちの意味と伝える情報

- | | | | |
|---|---------------------|---|------------------|
| ○ | ：あたたかみ、柔らかい、優しさ、神秘性 | ▶ | 利用施設の案内、生物の紹介 |
| △ | ：危険、攻撃的、不安定、安定、バランス | ▶ | 禁止・注意の周知、目的地への誘導 |
| □ | ：安定感、規律性、真面目、信頼感 | ▶ | 歴史の紹介、全体地図 |

それぞれのかたちの意味から伝える情報を決定しサイン看板に反映する

①看板デザイン

山中および芝生(三の丸広場など)を背景とした時の見え方の検討

②カラーデザイン

色弱の方でも識別できるユニバーサルデザインの検討

③現地調査

モックアップの作成、デザインの修正、ブラッシュアップ

第1章 はじめに

1-3 これまでの経緯と現状の課題 ~看板デザイン~

山中・林道でのイメージ

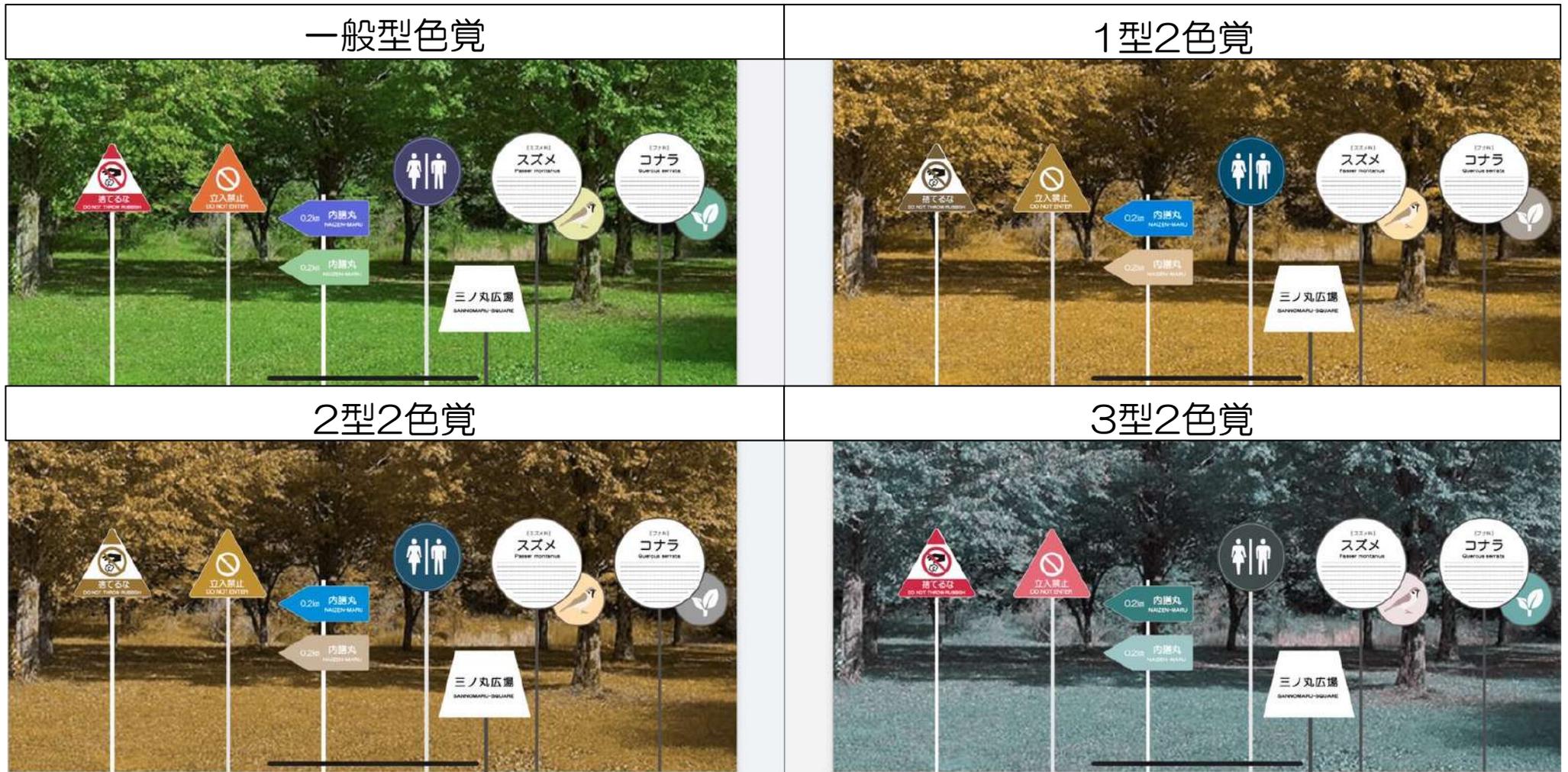


芝生・広場でのイメージ



第1章 はじめに

1-3 これまでの経緯と現状の課題 ~カラーデザイン~



一般型色覚に比べ色弱の方は特定の色差が分かりづらい

例) 赤が見えづらく、白ははっきり見える

→白色をアクセント若しくは基調とした色使いをする

第1章 はじめに

1-3 これまでの経緯と現状の課題 ～現地調査～

これまでに現地での看板デザイン検討を2回実施

第1回米子城現地調査：2021/10/22(金) 第2回米子城現地調査：2021/11/19(金)

<第1回米子城現地調査>

米子市役所の方による米子城の史跡としての解説を受けたうえで、調査日の段階で完成していた看板デザインの報告を実施

報告後、看板のフォントサイズと視認距離の確認、色弱の方に配慮した色合いの検討等を実施



調査結果（改善点）

- ▶ 看板デザインへの枠線採用（設置場所の明暗や看板の背景色を考慮した枠線）
- ▶ 看板背景色の再検討（森の中で景観を崩さないうえで視認性のある色の検討）
- ▶ 文字フォントのサイズ、種類の改善（文字を大きくし、より視認性のある文字フォントの検討）

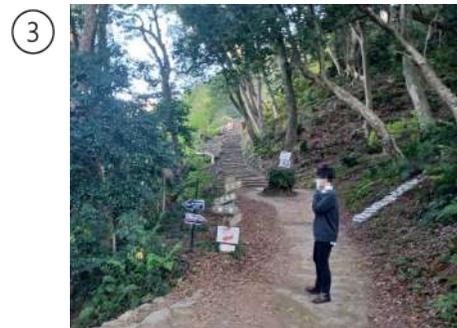
第1章 はじめに

1-3 これまでの経緯と現状の課題 ～現地調査～

<第2回米子城現地調査>

第1回の調査より明らかとなった改善点を修正しさらに詳細な検討を実施

具体的には、山頂への登頂ルートを進みながら、看板が設置されるであろう箇所での各調査項目（看板サイズ、フォント、カラー）の検討と既存看板との比較等を実施

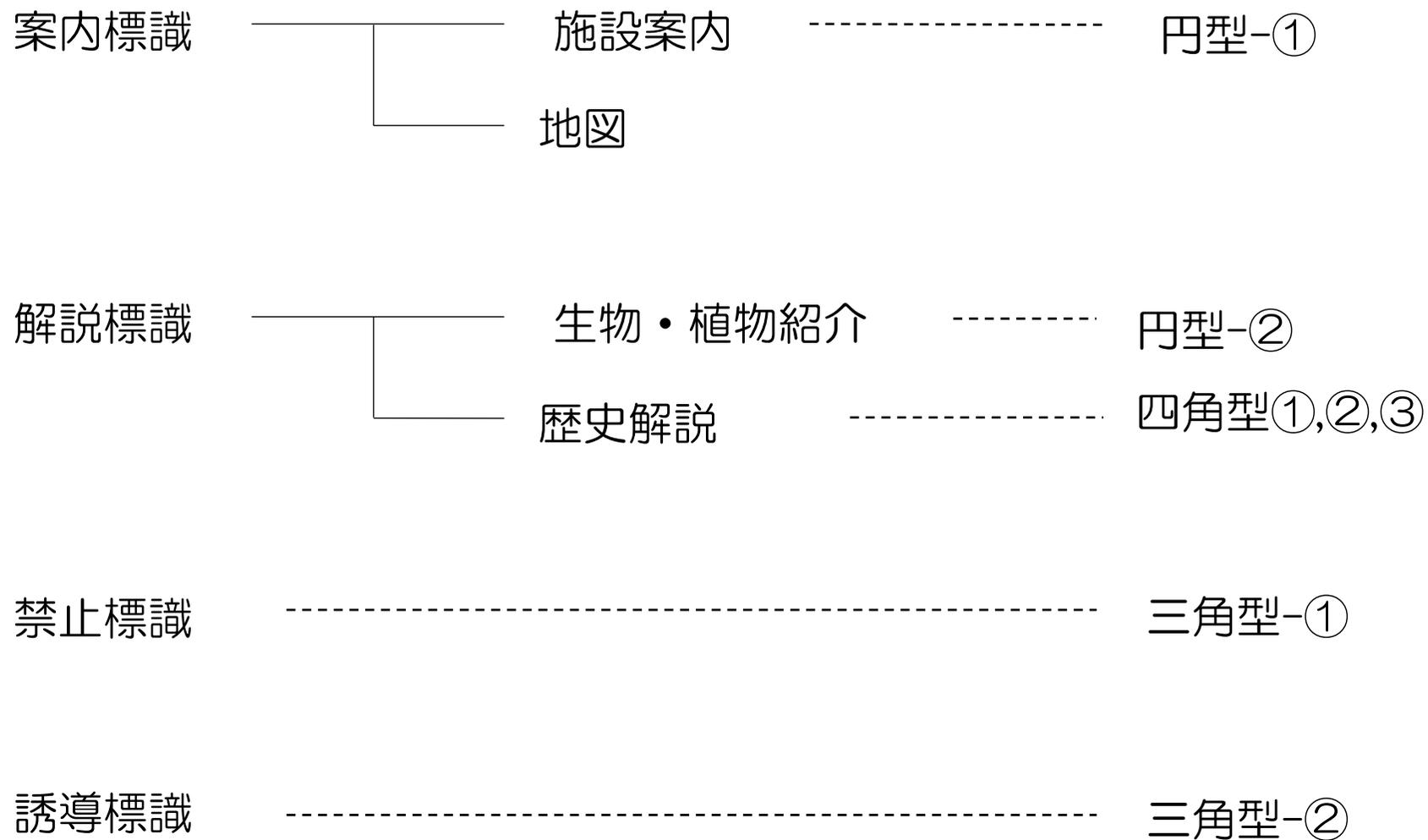


調査結果をもとに再度看板サイズ・フォントカラーなどの調整や設置の際の支柱構造等について協議を実施。

第3章 詳細ルール

3-1 種類

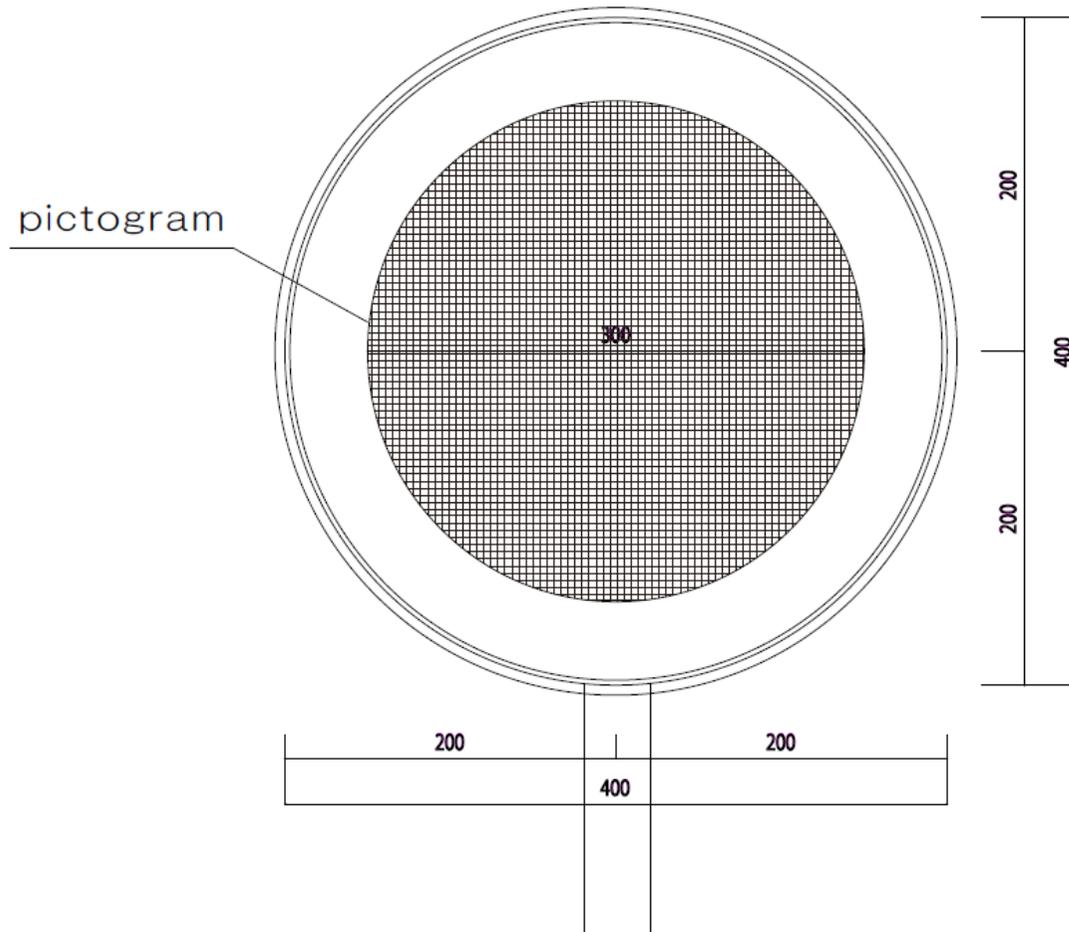
サイン標識 用途・形状の分類



第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

円型-①『施設案内』
(中央ピクトグラム)



第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

円型-①『施設案内』

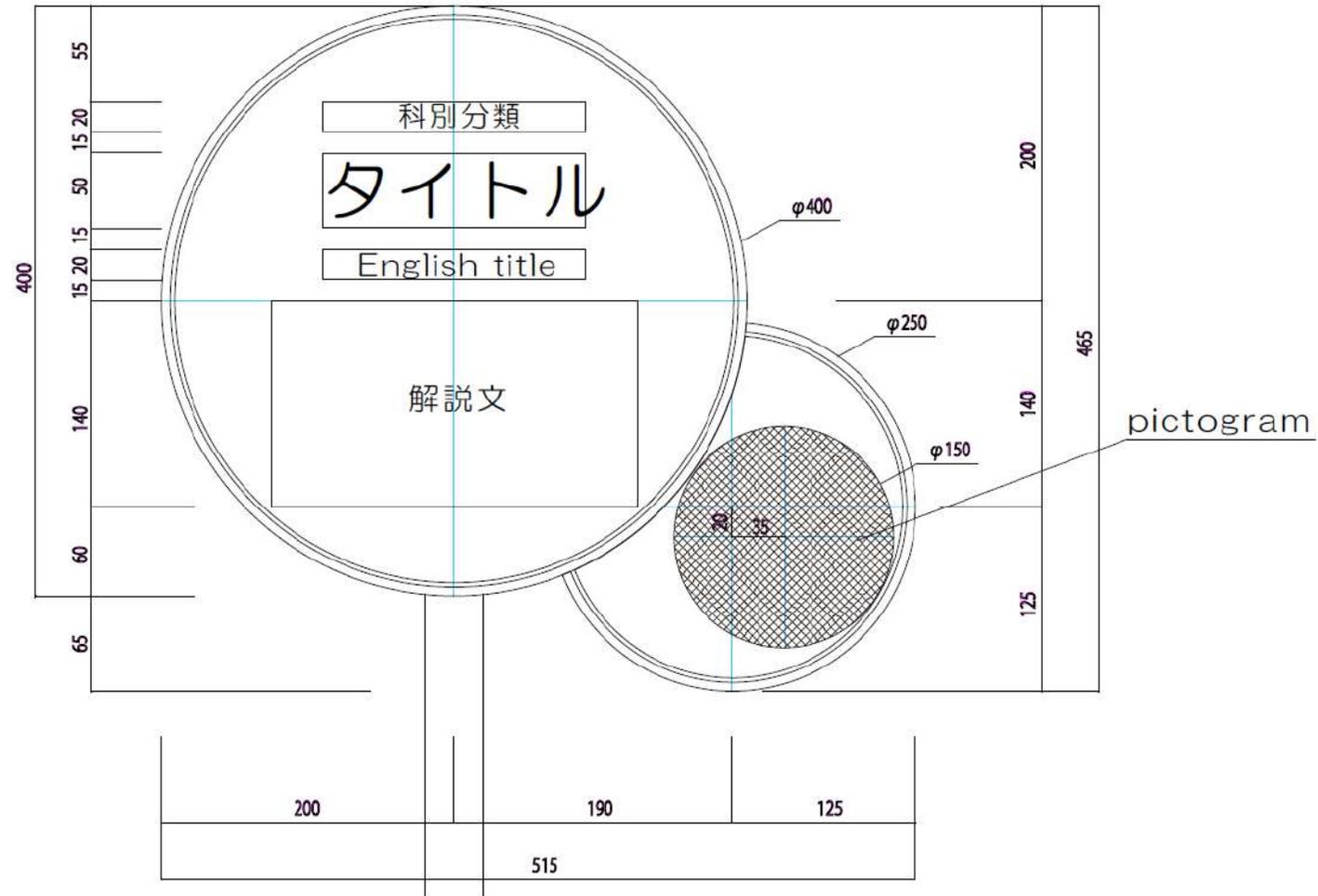
(中央ピクトグラム)



第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

円型-② 『生物・植物紹介』
(タイトル+解説文+ピクトグラム)



第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

円型-②『生物・植物紹介』 (タイトル+解説文+ピクトグラム)

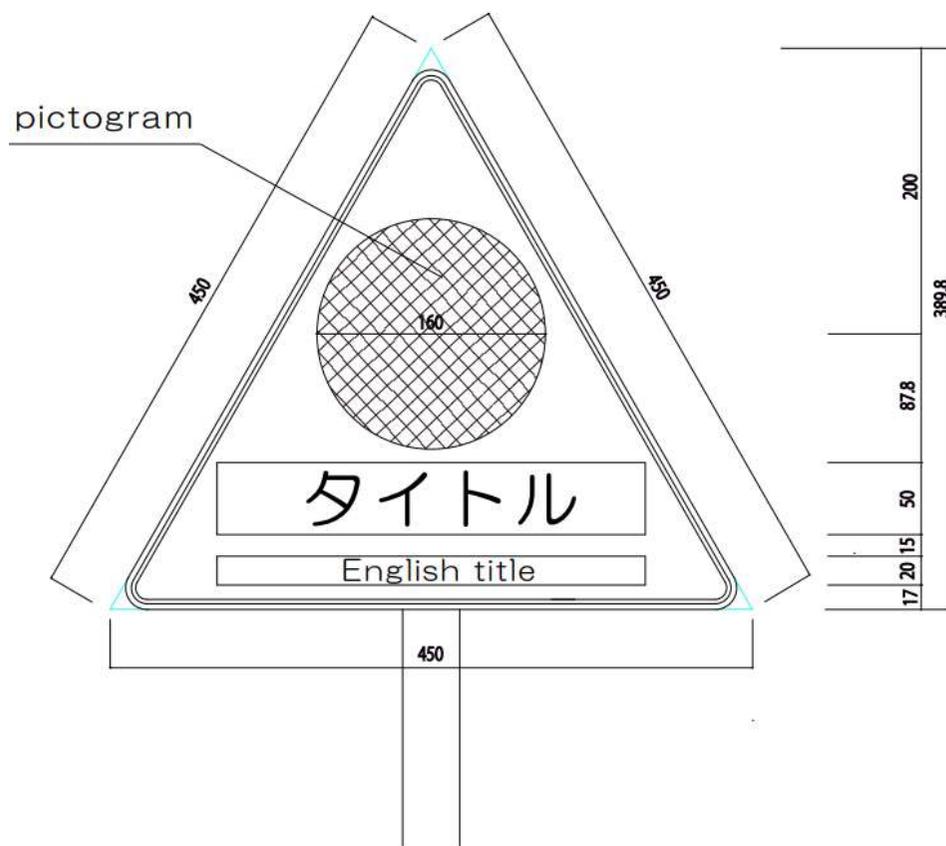


第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

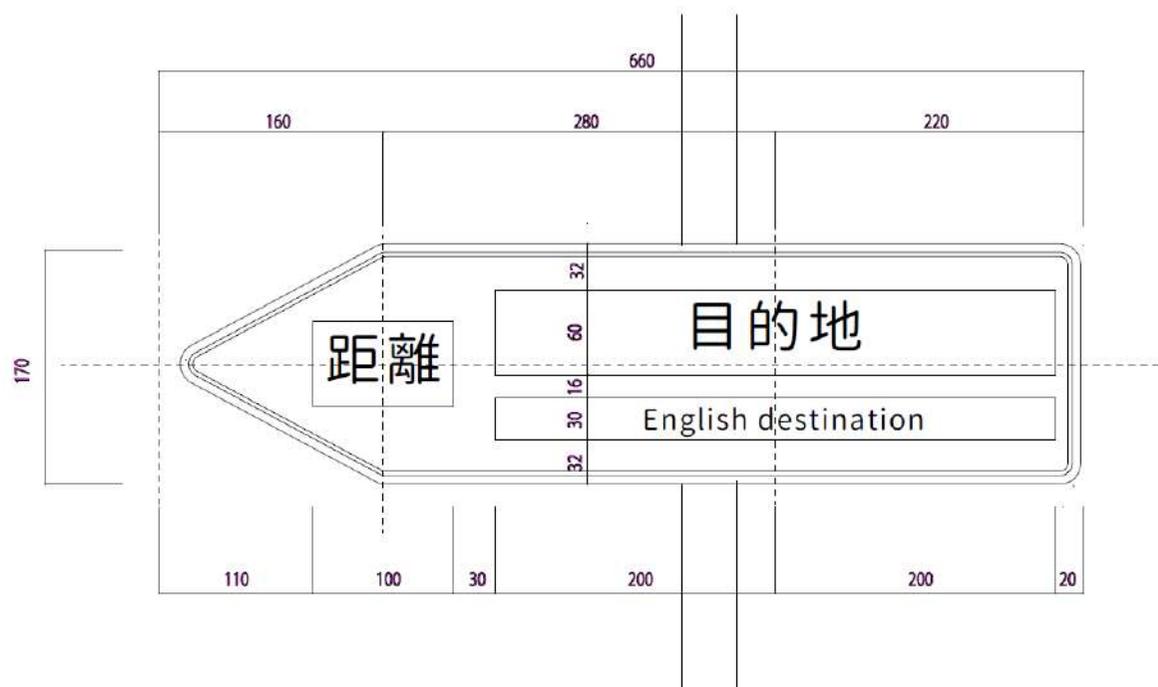
三角型-①『禁止・注意喚起』

(タイトル+ピクトグラム)



三角型-②『誘導・方向指示』

(誘導+距離)



第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

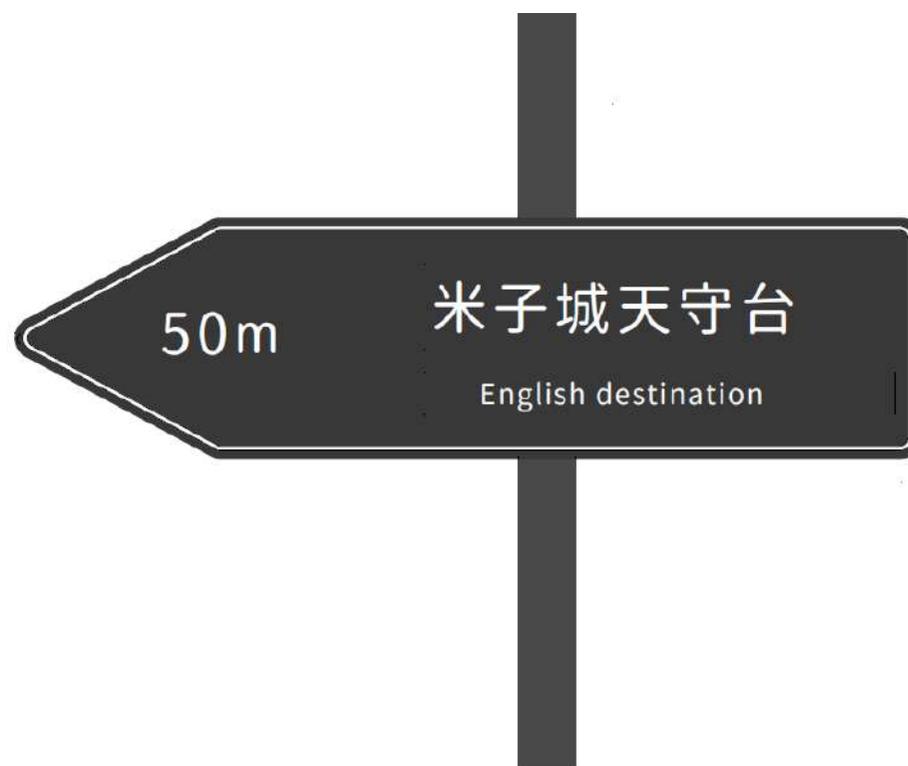
三角型-①『禁止・注意喚起』

（タイトル+ピクトグラム）



三角型-②『誘導・方向指示』

（誘導+距離）

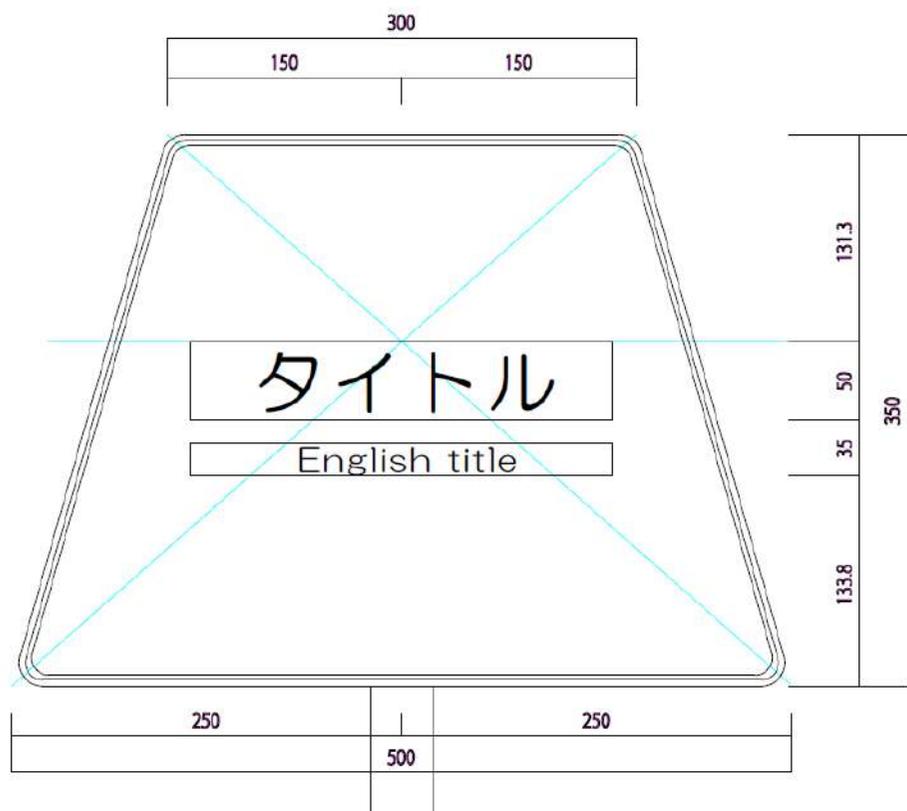


第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

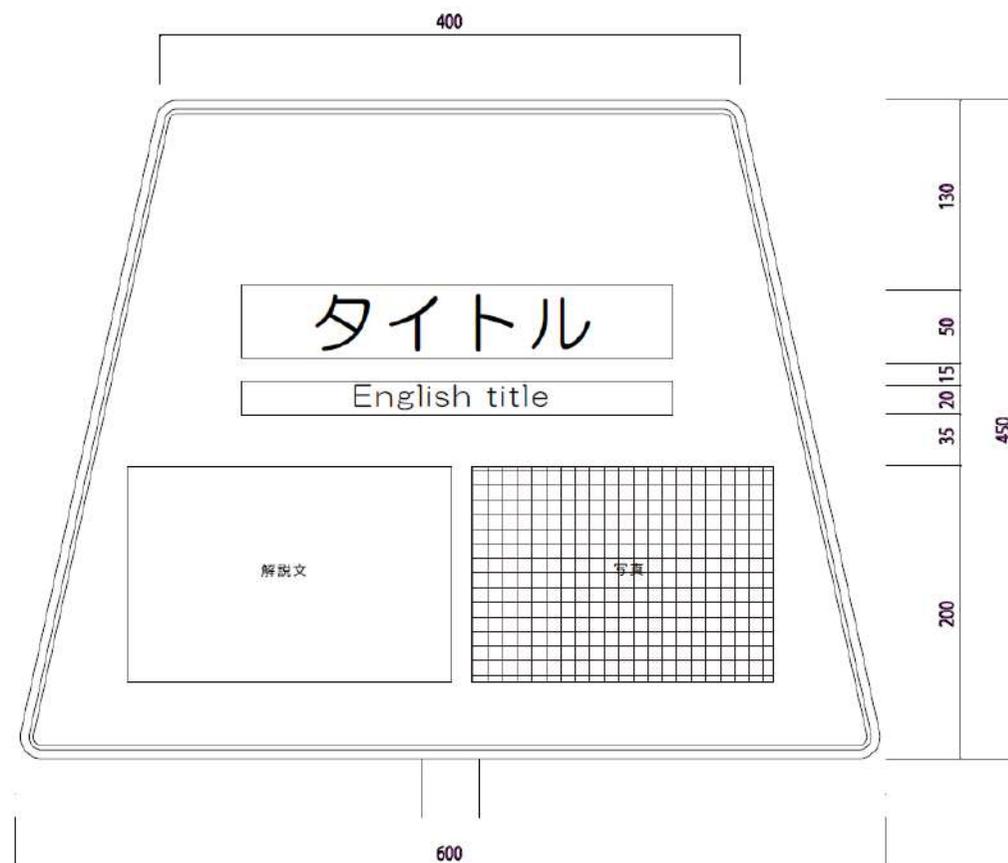
四角型-①『歴史解説』

(タイトル+解説文)



四角型-②『歴史解説』

(タイトル+解説文)



第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

四角型-①『歴史解説』

(タイトル+解説文)



タイトルのみの場合or少ない説明を入れる場合はこの看板を採用する

第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

四角型-② 『歴史解説』

(タイトル+解説文)

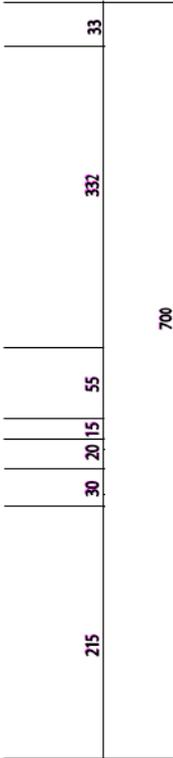
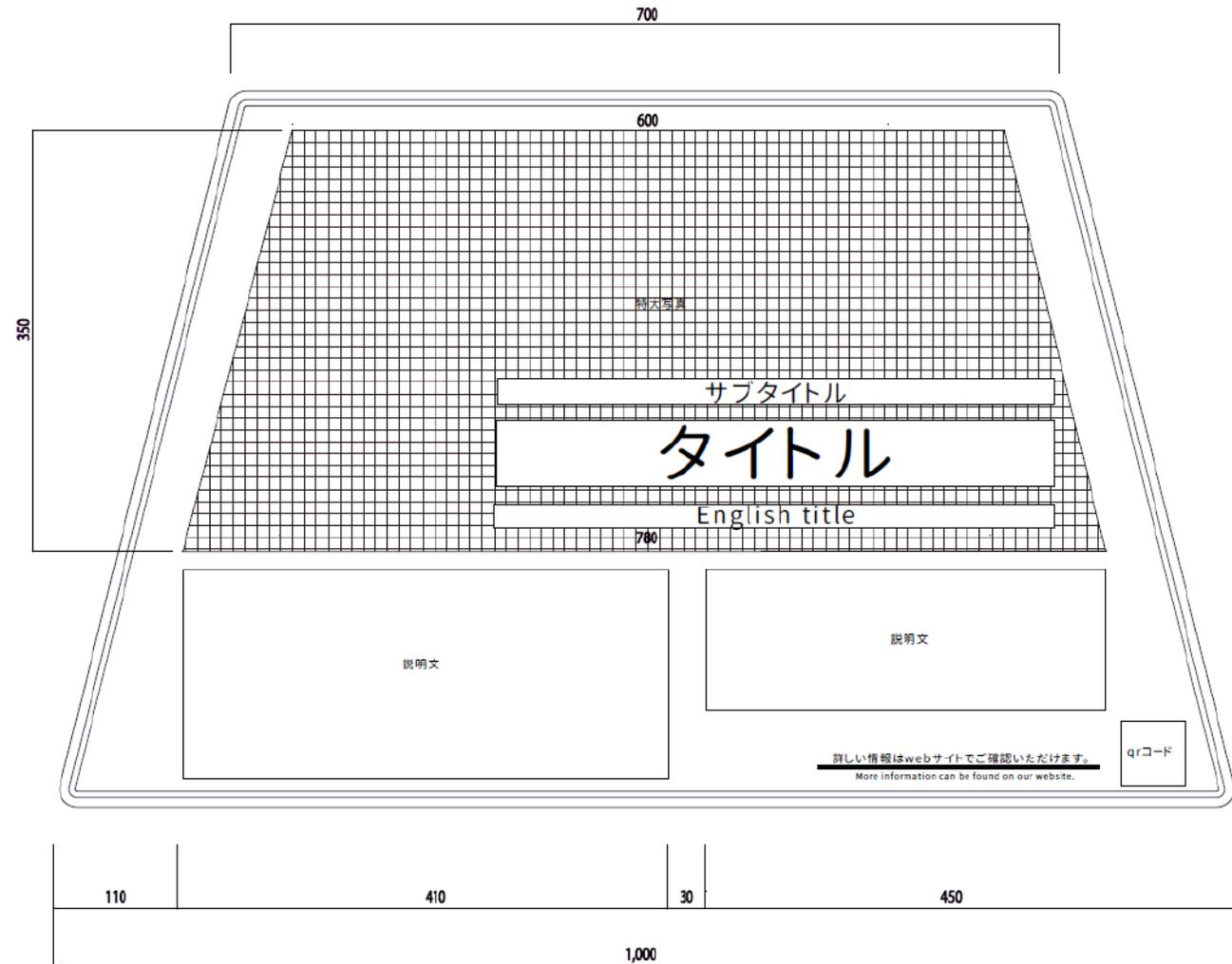


少ない説明と1枚の画像で説明する場合はこの看板を採用する

第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

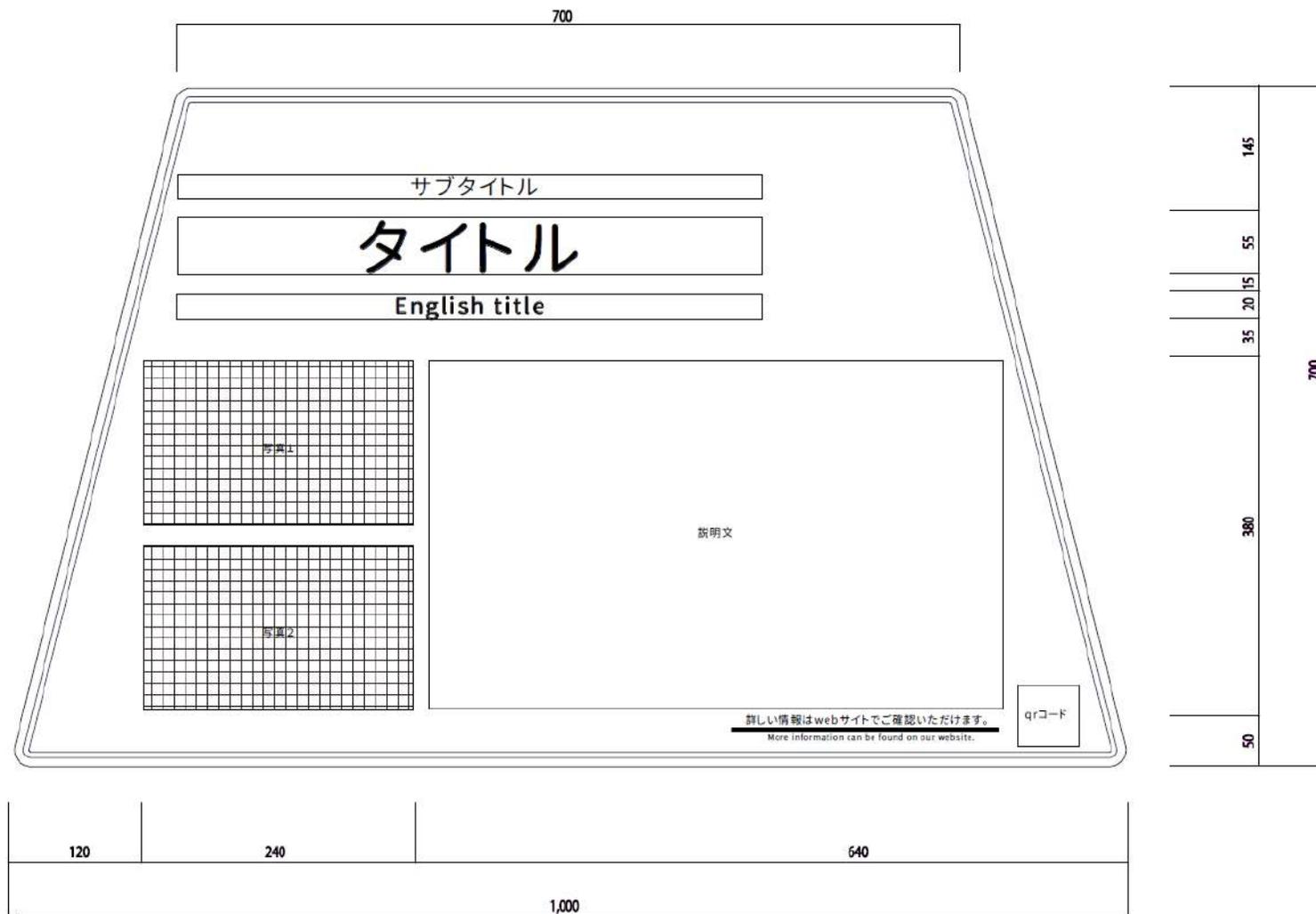
四角型-③の1 『歴史解説』
(タイトル+画像+解説文)



第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

四角型-③の2 『歴史解説』
(タイトル+画像+解説文)



第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

四角型-③の1 『歴史解説』 (タイトル+画像+解説文)



大きな画像をいれたいときはこの看板を採用する

第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

四角型-③の2 『歴史解説』 (タイトル+画像+解説文)

米子市登録有形文化財

旧小原家長屋門

Former Ohara Family Nagayamon



この長屋門は市内西町の小原家にあったが昭和28年米子市に寄贈され現在地に移築し市立山陰歴史館として昭和59年まで利用してきた。小原家は〇〇家の家臣で禄高120石であった。建物は江戸時代中期の建築で木造瓦葺入母屋造の平屋建てで床面積は84平方メートル余りであった。大扉の向かって右側に一室、左側に二室あってその上は一部低い中二階になっている。市内に現存する唯一の武家建築として貴重である。

This nagayamon was located in the Ohara family in Nishimachi, but was donated to Yanago City in 1953 and relocated to its current location and used as the Municipal Sasin History Museum until 1984. The Ohara family was a vassal of the XX family and had a height of 120 stones. The building was built in the middle of the Edo period and was a one-story wooden tile-roofed main building with a floor area of more than 84 square meters. There is one room on the right side and two rooms on the left side facing the large door, and above that is a partially lower mezzanine floor. It is valuable as the only samurai building that still exists in the city.

이 나가야몬은 원래 내시마치의 오하라가에 있었지만 쇼와 28년 요네코시에 기증되어 현재까지 사용되고 있습니다. 쇼와 59년까지 이용되었습니다. 오하라가는 〇〇가의 가신으로 모로코 120석이었습니다. 건물은 에도시대 중기와 건축으로 목조 기와집으로 평지건축으로 바닥면적은 84 제곱미터 이상입니다. 대문은 양쪽 문쪽에 1실, 좌측에 2실 있고 그 위에는 일부 낮은 중2층으로 되어 있다. 시내에 현존하는 유일한 무가 건축으로서 귀중하다.

旧屋門位于西町的小原家，1953年捐赠米子市，搬迁到现在的位置，作为市立山阴历史博物馆一直使用到1984年。小原家是XX家的家臣，身高120石。旧屋門建于江户时代中期，是一座木瓦屋的平屋，建筑面积约84平方米。面向大门的右面有一个房间，左面有两个房间，上面是部分低层的中二层的夹层。它是市内唯一存在的武士建筑，具有很高的价值。

詳しい情報はwebサイトでご確認いただけます。
More information can be found on our website.

qrコード

複数枚の画像をいれたいときはこの看板を採用する

第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

看板制作において各寸法の共通ルールを以下のように定める

▶ 角丸加工

半径 15mm

▶ 枠線

大型(四角型③)：太さ5mm 外縁からの距離8mm

小型(丸型,三角型,四角型①②)：太さ3mm 外縁からの距離6mm

第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

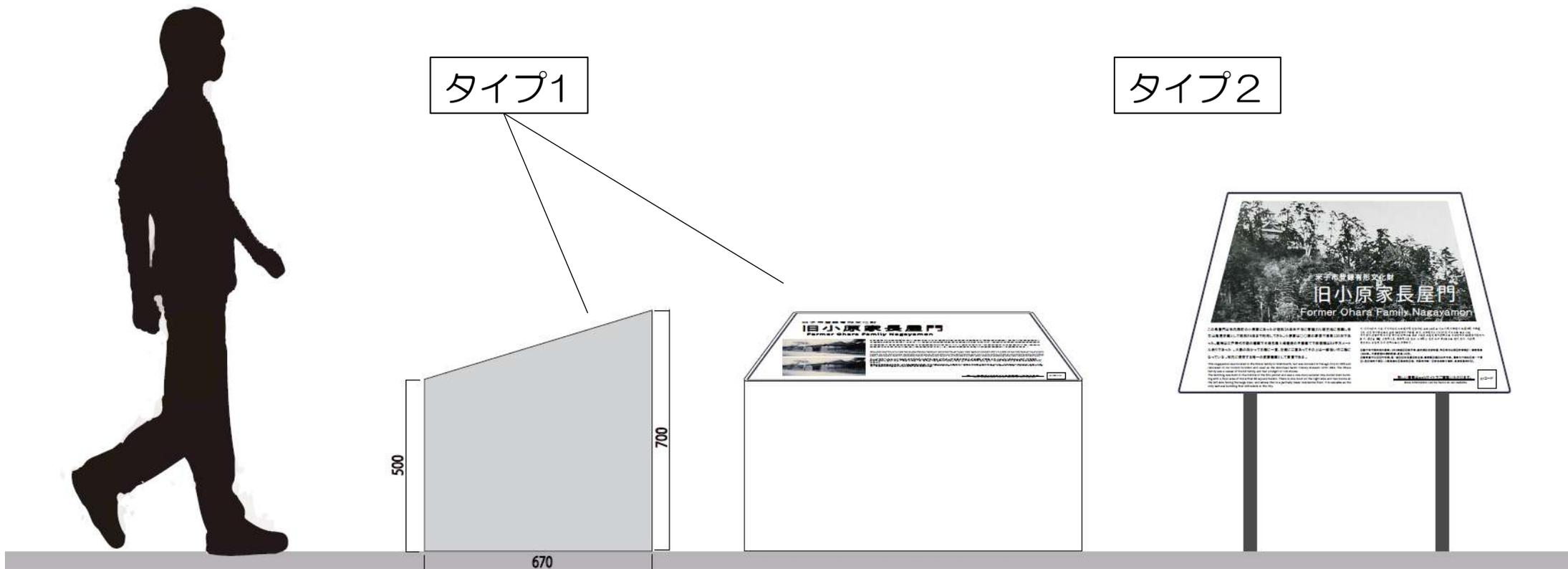
人物（身長160cm）との比較



第3章 詳細ルール

3-2 サイズ（高さ・幅・などの寸法）

人物（身長160cm）との比較



大型の台形③はサイズや支持の強度を考慮すると**タイプ1**の土台が好ましい

第3章 詳細ルール

3-3 カラー

米子城跡「城」の雰囲気合う色として、
『日本の伝統色』から19色を選定



出典：DICカラーガイド 日本の伝統色第9版
DICグラフィックス株式会社HP



そこから現地調査を実施し、19色の中から10色を選定

第3章 詳細ルール
3-3 カラー(全10色)

色



カラーコード

C	M	Y	K
0	57	36	0
6	92	75	0
12	38	82	0
69	0	100	38
62	23	55	0
87	64	10	0
89	77	61	15
87	87	85	50
75	92	56	0
71	77	80	0

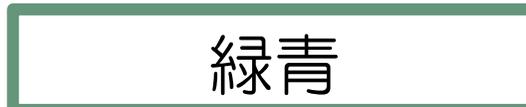
第3章 詳細ルール

3-3 カラー (カラー分類)

各項目から用途によって指定する色を使用

- 丸カラー(植物・生物) → 明るく、目を引く色

花・植物(3色)



生物(1色)



- 丸カラー(施設) → 文字やピクトグラムがわかりやすく



第3章 詳細ルール

3-3 カラー(分類)

△ 三角カラー(危険) → 注意喚起の危険な色(1色)



しょうじょうひ

しょうじょうひ

□ やじるし・台形カラー → 歴史系、お城に馴染む落ち着きのある色(各2色)
⇒ 矢印



文人茶

文人茶



墨色

墨色

□ 台形



青にび

青にび



くわのみ

くわのみ

第3章 詳細ルール

3-3 カラー(文字色と背景色の組み合わせ)

背景色が色付き→白文字



背景色が白→黒文字



第3章 詳細ルール

3-3 カラー(色の組み合わせの注意点)

色の組み合わせ注意事項

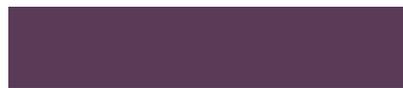
▶ 濃い背景色に白文字は目に刺激が強い → 強すぎない色

▶ ダメな組み合わせ → 色弱の人にとって同じに見える色

みどり×茶



みどり×紫×グレー



第3章 詳細ルール

3-4 フォント・文字サイズ（その他文字に関するルール）

フォントサイズ（タイトル文）

看板分類	タイトル文					
	和文			英文		
	文字高さ	サイズ(pt)	行間(mm) 行送り設定	文字高さ	サイズ(pt)	行間(mm) 行送り設定
地図案内看板 台形 ③	55mm以上	156(pt)程度		20mm以上	57(pt)程度	
サブタイトル	20mm以上	57(pt)程度		10mm以上	28(pt)程度	
一般看板 三角形 台形形 ①・②	40mm以上	113(pt)程度		15mm以上	43(pt)程度	
サブタイトル	20mm以上	57(pt)程度		10mm以上	28(pt)程度	
誘導看板 三角形	45mm以上	128(pt)程度		20mm以上	57(pt)程度	
丸型	50mm以上	142(pt)程度		20mm以上	57(pt)程度	
サブタイトル	20mm以上	57(pt)程度		10mm以上	28(pt)程度	

※ 1 pt=0.3528mmで考慮 文字高さ/0.3528=サイズ(pt) 計算は四捨五入

第3章 詳細ルール

3-4 フォント・文字サイズ（その他文字に関するルール）

フォントサイズ（説明文）

看板分類	説明文					
	和文			英文		
	文字高さ	サイズ(pt)	行間(mm) 行送り設定	文字高さ	サイズ(pt)	行間(mm) 行送り設定
地図案内看板 台形 ② ③	10mm以上	28(pt)程度	56(pt)程度	7mm以上	20(pt)程度	30(pt)程度
一般看板 丸形・三角形 台形形 ①	10mm以上	28(pt)程度	45(pt)程度	7mm以上	20(pt)程度	24(pt)程度
丸型	10mm以上	28(pt)程度	45(pt)程度	7mm以上	20(pt)程度	24(pt)程度

※1 pt=0.3528mmで考慮 文字高さ/0.3528=サイズ(pt) 行送り設定はサイズ(pt)の1.2倍とし計算
四捨五入計算とする

※和文行送り設定は、台形②・③：サイズ(pt)の2倍 その他：サイズ(pt)の1.6倍とし計算

※英文行送り設定は、台形②・③：サイズ(pt)の1.6倍 その他：サイズ(pt)の1.2倍とし計算

第3章 詳細ルール

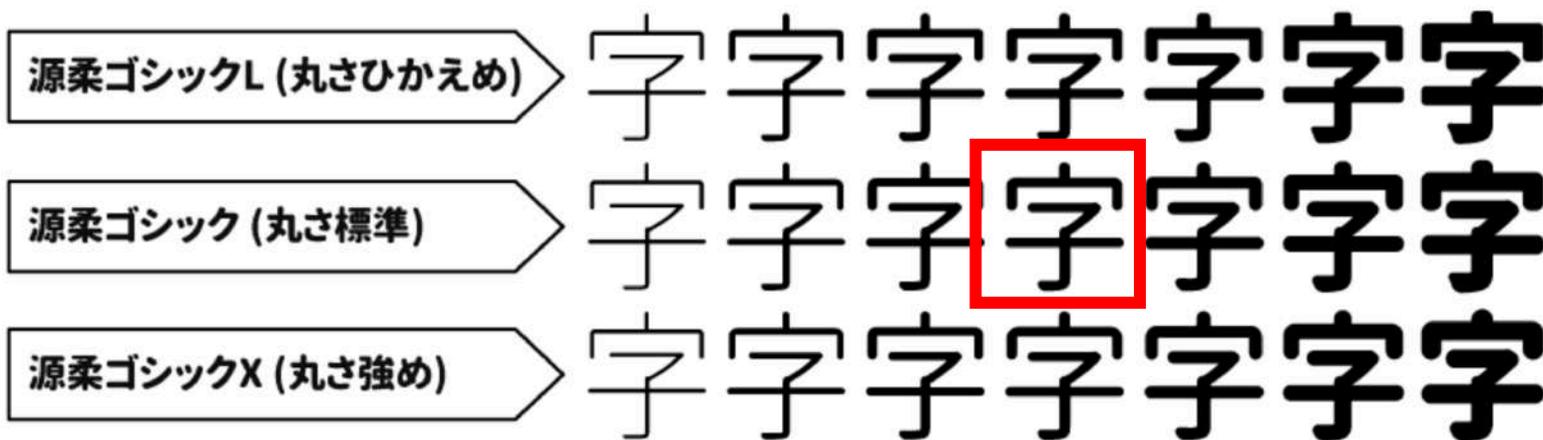
3-4 フォント・文字サイズ（その他文字に関するルール）

使用フォント：源柔ゴシック

- ▶ Mac、Windows 無料ダウンロードが可
- ▶ 能癖のない文字で読みやすい
- ▶ 丸さが3種類、太さが7種類

源柔ゴシック（丸さ標準・Regular）

基準
使用



太さ (Extra-Light、Light、Normal、Regular、Medium、Bold、Heavy)

第3章 詳細ルール

3-5 材質（その他手法に関するルール）

～事例調査・検討～

構造体

耐久性鋼材

→耐久性や加工性に優れ経済性もそこそこある

接合部、ボルト

溶融亜鉛メッキ又はステンレス

→耐久性に優れる

表示板

アルミニウム ※短期利用＝合成樹脂

→アルミは耐久性と加工性に優れメンテナンスも容易 経済性×

→合成樹脂は加工や経済性に優れるが耐久性に劣り一時的な利用に限る

印刷方法

シート張り又は特殊印刷技法

第3章 詳細ルール

3-5 材質（その他手法に関するルール）

～事例調査・検討～

看板ポールの素材

「アルミニウム」

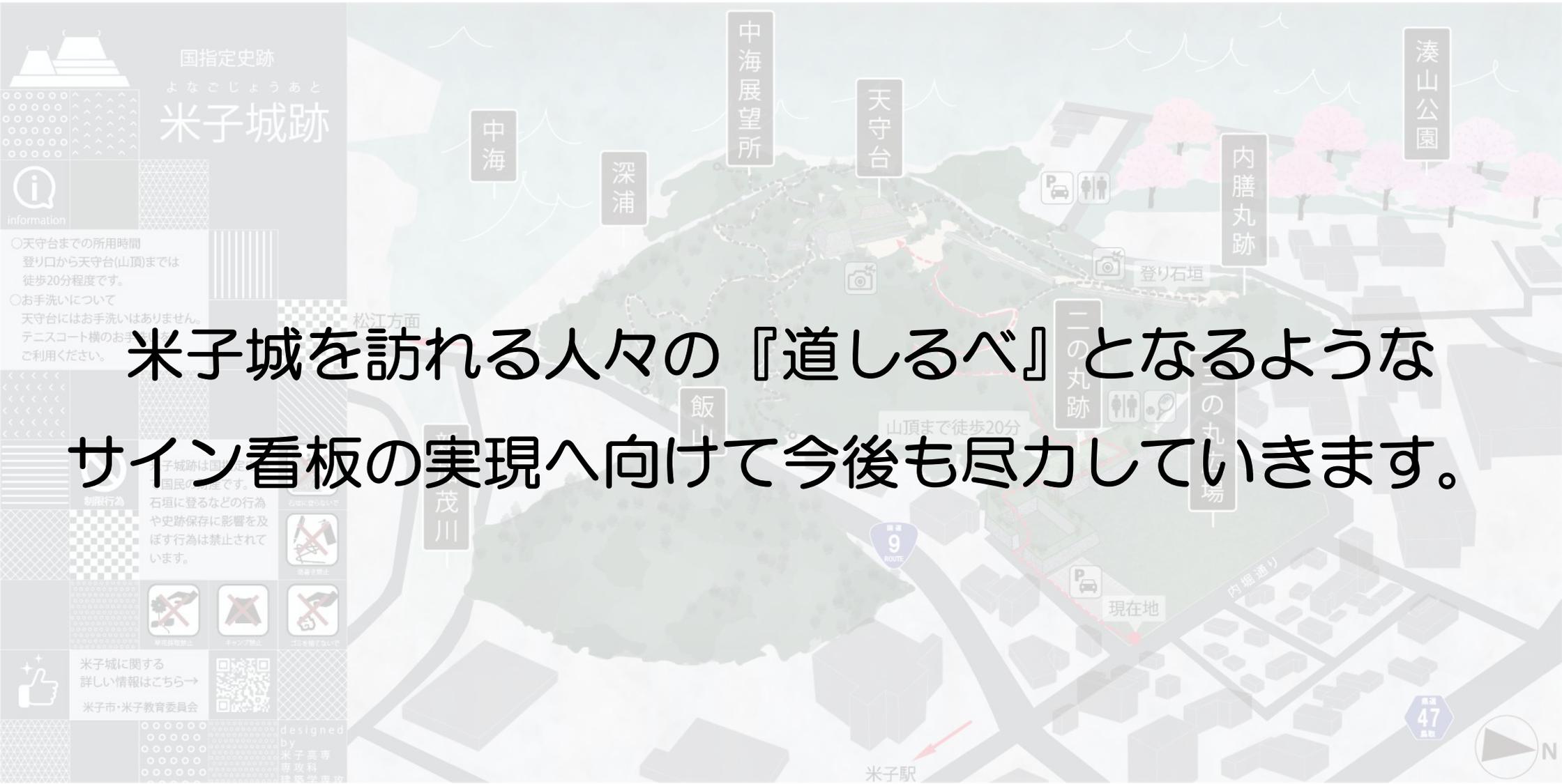
耐久性◎経済性○加工の自由度◎

特徴

- 軽い金属である
- 耐食性が良い
- 加工方法が容易である
- メンテナンスフリー
- 半年に一回程度の清掃が必要

アルミニウム板にレーザー加工、焼付塗装





国指定史跡
よなごじょうあと
米子城跡

information

- 天守台までの所用時間
登り口から天守台(山頂)までは
徒歩20分程度です。
- お手洗いについて
天守台にはお手洗いはありません。
テニスコート横のお手洗い
ご利用ください。

米子城を訪れる人々の『道しるべ』となるような
サイン看板の実現へ向けて今後も尽力していきます。

- 制限行為
- 石垣に登るなどの行為
や史跡保存に影響を及
ぼす行為は禁止されて
います。
 - 草花採取禁止
 - キャンプ禁止
 - ゴミを捨てないや

米子城に関する
詳しい情報はこちら→
米子市・米子教育委員会



designed
by
米子高寺
専攻科
建築学専攻